

プログラム

10:00～10:20 (受付開始 9:30)

開会

- ▼ Welcome speech
低炭素杯実行委員長 小宮山 宏
- ▼ファイナリスト紹介
- ▼審査委員紹介



金谷審査委員長



川北企業/団体賞選考委員会
委員長

10:20～13:00

ファイナリスト 26 団体による プレゼンテーション

発表時間 1 団体 4 分

- ▼ 10:20 第1グループ プレゼンテーション
市民部門・自治体部門 (10 団体)
- ▼ 11:10 休憩 (10 分)
- ▼ 11:20 第2グループ プレゼンテーション
学校部門 (9 団体)
- ▼ 12:05 休憩 (10 分)
- ▼ 12:15 第3グループ プレゼンテーション
企業部門 (7 団体)



トロフィー制作者 齊藤公太郎さん



司会の櫻田彩子さん

プレゼンテーションの様子



佐賀市上下水道局下水プロジェクト推進部

13:00～15:00

- ▼環境省 VTR 上映

15:00～15:15

ステージプログラム

- ▼一般財団法人セブン-イレブン記念財団
- ▼株式会社 LIXIL

15:15～17:00

表彰式

- ▼主催者挨拶
低炭素杯実行委員会副委員長 長谷川 公一
- ▼審査結果発表
- ▼閉会の挨拶
低炭素杯審査委員長 金谷 年展



学校法人緑丘学園 水戸英宏小学校・中学校



長崎県立諫早農業高等学校

低炭素杯2017新しい取り組み

ステージプログラム

低炭素杯に共催いただいている一般財団法人セブン-イレブン記念財団、株式会社LIXILの活動を紹介しました。

一般財団法人セブン-イレブン記念財団



セブン-イレブン記念財団は、セブン-イレブン加盟店と本部が一体となって環境をテーマに社会貢献活動に取り組むことを目的として、1993年11月に設立されました。セブン-イレブン店頭でお客様からお預かりした募金と、(株)セブン-イレブン・ジャパンからの寄付金をもとに環境市民活動の支援を行っています。

- (1)「環境市民活動支援事業」 2016年度 延べ294団体(1億5294万円)助成、環境NPO海外研修
- (2)「自然環境保護・保全事業」 高尾の森自然学校、九重ふるさと自然学校、セブンの森づくり等
- (3)「広報事業」 低炭素杯、生物多様性アクション大賞、森のようちえんフォーラム等
- (4)「災害復興支援事業」 自然災害復興活動、義援金募金活動

CO₂削減活動として、森林保全プロジェクト「セブンの森」活動を全国に17か所展開し、海洋性のCO₂吸収につながるアマモ場再生UMIプロジェクトなどにも取り組んでいます。また東京都や大分県とも連携し、「東京：高尾の森自然学校」(2015年4月開校)、「大分：九重ふるさと自然学校」を運営し、環境教育の実践の場も提供しております。

セブン-イレブン記念財団では、地域に根ざした社会貢献活動を展開してまいります。皆様のさらなるご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。



「セブンの森」活動



アマモ場再生UMIプロジェクト



店頭募金箱

株式会社LIXIL



LIXIL 持続可能な社会を目指して

Link to Good Living コーポレート・レスポンスビリティ (CR) 戦略
世界中で革新的かつ責任ある活動を通して生活の質向上に貢献することで、最も信頼される企業となる

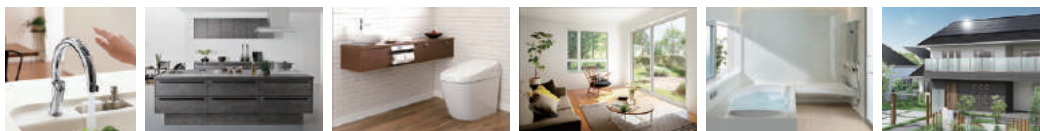
私たちは優れた製品とサービスを通じて、世界中の人びとの豊かで快適な住生活の未来に貢献する

LIXILは、この企業理念のもと、CR戦略を掲げ、「グローバルな衛生課題の解決」「水の保全と環境保護」「多様性の尊重」をその重点課題とし、推進しています。

環境ビジョン実現に向けた環境戦略重点テーマ

1. 気候変動の緩和と適応
2. 水資源の保全
3. 持続可能な資源の利用

省エネに寄与する高断熱窓や、節水・節湯できる水まわり製品など、エコ商品の研究開発に注力しています。

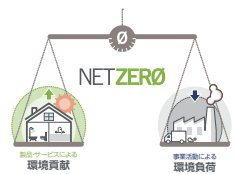


水の保全と環境保護

調達から生産、流通、製品の使用・廃棄やサービスの利用に至るまで、全てのプロセスにおいて、水、エネルギー、およびその他の天然資源の保全に努めます。

環境ビジョン 2030

2030年までに、製品・サービスによる環境貢献が、事業活動による環境負荷を超える「環境負荷ネットゼロ(±0)」を実現します。



環境省 VTR 上映

環境省よりご提供いただいた COOL CHOICE TV 10 作品、「君たちの動画を待っている！藤岡弘、地球温暖化防止道場」環境大臣賞受賞作品ほか受賞作品 9 作品を上映しました。